

# THE WEEKLY NEWS OF EAST KISARAZU



国際ロータリー第 2790 地区  
木更津東ロータリークラブ

2021-22 年度

●例会日 毎週水曜日 PM12:30~1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111  
●事務局 木更津市朝日 1 丁目 2-29 シグママンション朝日 B 棟 105 号 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

2021-22 年度国際ロータリーテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために  
SERVE TO CHANGE LIVES

第 2 3 回例会 NO. 2544

2022 年 1 月 12

【 事務局 清水真由美さんのペット 】



【テトくん】

■司会進行 渡部和夫 S A A



◆点鐘 12時30分  
渡邊慎司会長

◆Rソング 斉唱  
「我等の生業」



◆メイクアップ

・1/12 第7回定例理事会  
渡邊慎司・松岡邦佳・堀内正人・吉田和義・  
石田亨・佐藤丈夫・加藤智生・林孝二郎・  
倉島和弘・小林裕治

・1/18 第7回第5グループ会長幹事会  
渡邊慎司・吉田和義

◆四つのテスト 宮寺順子会員



◆出席 会員 42名  
出席 30名  
欠席 12名

◆出席率 78.94%  
◆前々回出席率 71.42%  
◆修正後出席率 80.00%

◆欠席者【敬称略】

叶川博章・嶋津正和・鈴木秀幸・竹内正守・  
趙 亜南・中野麻美・林田謙治・渡邊元貴

ホームページ <https://kisarazueast-rc.jp>

木更津東ロータリークラブ

会 長 渡 邊 慎 司  
幹 事 吉 田 和 義  
編 集 大 岩 も え

国際ロータリー第 2790 地区

R I 会 長 シェカール・メータ  
地区ガバナー 梶原 尊  
ガバナー補佐 鈴木 荘 一

◆ゲスト・来訪ロータリアン紹介

渡邊慎司会長

◇ガバナー補佐 鈴木荘一様

◆誕生日祝い

豊田文智 (12/23) ・有島敏夫 (1/8)

◆結婚記念日祝い

竹内正守 (1/11)



おめでとうございます



■会長挨拶 ・報告

渡邊慎司会長



皆さんこんにちは、今月は職業奉仕月間となっております。先月は地区委員長をお迎えして卓話をして頂きました。ロータリーの4つの目的にも、ロータリアンの行動規範にも職業奉仕の精神が謳われています。

職業奉仕の話をする時に欠かせない人といえば、「アーサー・フレデリック・シェルドン」ですが、彼は経済学者でありビジネススクールを主宰していました。そのビジネススクールのテキストには、「He profits most who serves best」の言葉が述べられています。

シェルドンが述べているのはロータリークラブとして必要な事柄というよりも、会社を経営していく上で必要な事柄を述べています。自分がしてもらいたいと考えることを、まず他人にすること。自分がお金を稼ぎたいと思うならば、まず他人に奉仕することであり、先に奉仕があれば、必ず後から報酬が付いてくると説いています。

つまり、継続的に経営を続けていきたいのなら、高い職業倫理を備えた事業所を運営する事だと述べているのです。物やサービスの対価としての報酬を得る場合において、良い物品や良いサービスを提供することは当たり前の事です。しかし、中には報酬ばかりを気にして、粗悪なものや横柄な態度をとる人達もいます。日本の高度成長期において日本製品は高い品質を保っていました。車においても家電製品においても日本製品の品質の良さは世界中で知られるようになりました。それは、会社としても組織としても、そしてそこで働く従業員全員が、高い倫理観を持って働いていたからに違いありません。

しかし今では、検査結果の改ざんや産地偽装など、大企業においてもその職業倫理が疑われる事案が多く聞かれるようになりました。その原因は様々ですが、隠ぺい体質や、安い商品でなければ売れないと思込み、何とか安く商品を提供しようと考え、本来あるべき良い商品、良いサービスの提供という事を忘れてしまった結果だと言えます。

ではロータリーにおける職業奉仕とは何なのでしょう。MY ROTRY の職業奉仕の手引きには、例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う。地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす。高潔さを重んじて仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す。若者のキャリア目標を支援する。専門能力の開発を奨励し、指導する。などが書かれています。

最近では学びなおしというキーワードを耳にすることがあると思います。企業においても従業員のスキル向上のための取組みや、大学に通い直して新たなスキルを身につけたり、さらに踏み込んだスキルを学んだりする事です。

ロータリーにおいても事業所の職員に対して学び直しの機会の提供や、各種資格試験取得のための講習なども開催することができるかもしれません。

地域において良いサービスを提供して貢献することがまず私達に必要な事だと思えます。そこで得た知識や利益を利用して更に進歩していくことで、地域雇用や地域発展に貢献できるのではないのでしょうか。ロータリークラブの会員の会社はやはり違うと、その様な言葉を掛けてもらえるようにして行きたいと思えます。

## ■幹事報告

吉田和義幹事



### 1. 幹事報告

- 1) 国際ロータリー推進委員会より「RLI 十周年の集い」開催のご案内が届いておりますので回覧いたします。
- 2) 本日の例会終了後、「第7回定例理事会」を開催いたします。担当理事の方はご出席下さい。

### 2. 他クラブからのお知らせ

- 1) 木更津 RC より「週報」が届いておりますので回覧いたします。

### 3. その他のお知らせ

- 1) 特になし

### 4. 回覧

- ・ 国際ロータリー推進委員会より「RLI 十周年の集い」開催のお知らせ
- ・ 木更津 RC より「週報」

## ■委員会報告

- ◆ニコニコボックス報告・出席報告  
親睦出席委員会 石井文子会員



◇ガバナー補佐 鈴木荘一様

◇足立宗禅様

明けましておめでとうございます。

◇宮寺順子会員

新年おめでとうございます。高倉観音のお正月はたくさんの参拝者でにぎわいました。ご参拝頂きありがとうございました。また週報の表紙に雪の本堂を載せて頂き感謝です。

◇有島敏夫会員

誕生日祝いを頂きありがとうございます。90才になりました。まだまだ頑張りますのでこれからもよろしくお願ひします。

◇豊田文智会員

12月23日に69才になりました。ありがとうございます！

## ～ロータリーについて知ろう～

第19回目

今月は職業奉仕月間ですが、以前はどのような活動をしていましたでしょうか。やはり例会において会員における卓話や、会員以外の職業分類にない人と呼び、その職業について深く知るための卓話や、会員の職場を訪問して実際にどのような仕事であったり、製造方法やバックヤードの見学などをしたりしていました。

各種団体の長などと呼んで、今後の展望を聞いたり、会員が興味のある職業について卓話を聞いたりすることも面白いかもしれません。特に裏話などが聞けると印象に残るのではないのでしょうか。

職業奉仕についてあまり難しく考えすぎると、普段の活動が面白くなくなってしまうので、委員長も会員の皆さんも「職業」に関する事なら何でも良し。として活動を進めていくのも良いのではないのでしょうか。

## ■例会アワー

担当：鶴岡大治会員



◆卓話者 (株) 陵石匠会長 足立宗禅様

テーマ『今年はどうな年』



明けましておめでとうございます。ご挨拶早々コロナとなってしまいました。コロナ禍も3年目という事になるのでしょうか、このところ感染者数も少なくなっているようでしたが、新しくオミクロンとなり以前感染は続いております。果たして終息するのでしょうか。

本来ならば不肖、私は2年前に当クラブを退会させて頂いており、それなりのご挨拶が先になるところですが、後廻しになってしまい申し訳ございません。改めて30有余年の間ご指導を賜り有難うございました。昨年12月、鶴岡さんから去年の1月はコロナでお休みになったが、来年の1月12日に”今年はどうな年”という例年続いた話をという電話があり、会員ではない私だと咄嗟に思いましたが、今までの習慣とでも云うのかごく自然に引き受けてしまいました。今、原稿をつくり改めて年と共におとろえた筆記力に気力と体力の矛盾をしみじみ感じているところです。扱て、前置きが長くなりましたが本題に入らせて頂きます。

今年も前年から引き継いで来る訳ですが、その意味で、昨年(令和3年)の詳細は省きますが、納音で「壁土土」干支では「辛丑」九星で「六白金星」と云う事で、徐々に域恋が陰り形勢が逆転していく可能性がある。と云うところでした。今年、納音で「金箔金」薄く打ち延ばした金のことで、古来薬の中に入れて、器を飾るために用いられた。人に例えると、この魂の人は余り自己主張をすることはせず、一緒にいる人を輝かせる能力がある。人のよさを引き出す能力があるので、重宝がられるが、自分が貴重な金であることを忘れるな、と云うことです。

干支では「壬寅」壬は、孕む、即ち妊の姿であり、又、荷う、事に当たる、と云う意味も表して居り「壬人」と云う言葉がありますが、事に任ずる人物で、おそらく色々活躍する人が輩出するだろうと思われま。

又、反面悪いこともあります。壬人と云う言葉の通り、よい意味の「事に当たる」人ばかりではなく、この時局に便乗して事故の野心を得ようとするよからぬ人間が出る来ることを指し壬人と云えば佞人の意味にも使われます。

又、「寅」の文字は「つつしむ」の意味も持ち寅畏と云う言葉もある。この寅は演に通じ、進展を意味し、敬んで協力することを寅亮とも云う。志を同じくする者が敬んで時務を進めねばならず、さもなければ、畏るべきことになる、と云うことです。

コロナ禍も発生は令和の元号が制定された年の12月始まった。そして、発生源と云われた中国の華南海鮮域が閉鎖されたのが令和2年1月1日、その間1カ月余り無防備にウイルスは世界中に拡散され、3年経った今でも世界中の気運や経済を狂わせている。

さきほども述べましたが壬は内在するエネルギーが増大する意味を持ち、多くの問題が増大し物事がますます入り組んでくるが、それを処理する任せられる人物が出てこなければならぬ。そのもどかしさもある。奸人、佞人の出現がなければ良いのですが。

更に、寅は、慎む、助けるですが、易の卦では令和4年は「地天泰」和合、安定を表すのだが、大吉は凶にかえるで、自戒が必要。この卦が変わると、「雷天大壮」で万事意の如く通ずる時、とある。が天と地が逆になっているこの卦は手放して喜ぶ訳にはいかない。「急進せざる」をよしとする等とされています。

運気に陰りが出てきているときで、それに気付かずうかうかと進むと失敗する、自ら富を得ようとせず自分を取りまく総てに感謝をし、目上や上司に尽くし、又部下を信頼すれば好結果が出ると説いている。

ところで干支一巡60年前はどのような事があったらうか振り返ってみると、60年前は昭和37年、二黒土星で高度成長政策により日本経済が急速に発展し、東京都の人口が1000万人を超え世界初の1000万都市になった。マリリンモンローの不審死、首都高1号線の開通、又、恵庭事件が起きた。これは、自衛隊法と日本国憲法第9条とが合憲違憲を争ったものでこれからも出てくる問題だろう。さらにこの年は、創価学会を母体とした公明党の前身公明会が結成された年でもあった。120年前はどうか、明治35年八白土星の年、8月に鳥島火山大噴火、島民125人全員死亡。海外では4月グアテマラでM7.5の大地震、5月には西インド諸島のフランス領の島で火山噴火で発生した火砕流で麓の市が壊滅死者3万2千人などの大災害が多発した。壬寅の年は、自然災害や騒乱が多数発生している。

今年にはそれに五黄土星が付いている。頻発している国内の地震、考えてもいなかった軽石等、天象で五黄は地震とある。

今年は何ともいやな予感の年である。

備えあれば憂いなしというが、備えても憂いあり、近年世界で増加している地震や噴火、大型自然災害には物資を十分に備えると云うことなのだろうか。

コロナもとても収束するとは思えない。相次ぐ災害に、そして対外的にも弱り目に祟り目とならないことを祈るのみである。

来年は「癸卯」の年、希望をもって行こうではありませんか。

もとロータリアンの私がかの形でお役に立てればと先輩諸兄の前であえて高いところから拙話をさせて頂きました。

ご清聴ありがとうございました。

会員諸兄の良き年となりますよう、祈念いたします。



ありがとうございます  
ご清聴します

◆点鐘 13時30分 渡邊慎司会長